

科目名	Webマーケティング論1	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松山智彦
学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)昼一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	金融系システムエンジニア、ITコンサルタント、ネット専門証券会社広報						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として必要なマーケティング全体を広く浅く学習(基本座学) ・デジタルマーケティングに必要な用語、方法、事例を学習 ・WEBサイトやサイト運営者の考え、狙いを分析 ・卒業後に仕事場にて、特にデジタル分野、マーケティング分野において基本的な知識を学習 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルマーケティング全体像とIoT(DX)の基本的な理解 ・デジタルマーケティングの基本的な用語、方法の理解 ・ブランディング、他社との差別化を図るための戦略立案力を付ける ・SNSの多様化 web広告の仕組み・運用の理解 						
評価方法と基準	出席20%、期末試験50%、授業態度及び課題30%の100%満点 課題はフィードバック(および授業中で発表)します。						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1	4月20日	講義	ガイダンス、授業の進め方		
2	4月27日	講義	デジタルマーケティングの基礎知識① デジタルマーケティングの特徴、トレンド	①予習は特に不要だが、出てきた重要用語を復習しておくこと ②興味のあるWEBサイト等を、どういう意図、目的等をマーケティングの視点で調べておくこと	
3	5月11日	講義	デジタルマーケティングの基礎知識② 最新デジマ事例		
4	5月18日	講義	競合サイトと差別化① WEBサイト、SEO		
5	5月25日	講義	競合サイトと差別化② 顧客の流入、PV数、直帰率、WEBライティング		
6	6月1日	講義	競合サイトと差別化③、見込み客をファンに① AR,VR,ホワイトペーパー		
7	6月15日	講義	見込み客をファンに② SNS(TW,FB,LINE,TikTok)		
8	6月22日	講義	CVの極意① CVR、UI、UX		
9	6月29日	講義	CVの極意②、データ活用法① ヒートマップ、再訪率		
10	7月6日	講義	データ活用法② ICタグ、ビックデータ活用事例		
11	7月13日	講義	データ活用法③ CRM成功事例、MAで見込み客育成		
12	7月20日	講義	AI×5G① マーケティングの未来		
13	8月31日	講義	前期の復習		理解できていない箇所の確認
14	9月7日	講義	筆記試験		
15	9月14日	講義	筆記試験の解答・解説 前期全体の復習、後期のガイダンス		
準備学習 時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】					
デジタルマーケティング見るだけノート(宝島社):レジュメで配布予定					

科目名	Webマーケティング論2	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松山智彦
学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)昼一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	金融系システムエンジニア、ITコンサルタント、ネット専門証券会社広報						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として必要なマーケティング全体を広く浅く学習(基本座学) ・デジタルマーケティングに必要な用語、方法、事例を学習 ・広報担当者として、何ができるかの立案 ・卒業後に仕事場にて、特にデジタル分野、マーケティング分野において基本的な知識を学習 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルマーケティング全体像とIoT(DX)の基本的な理解 ・デジタルマーケティングの基本的な用語、方法の理解 ・ブランディング、他社との差別化を図るための戦略立案力を付ける ・SNSの多様化 web広告の仕組み・運用の理解 						
評価方法と基準	出席20%、期末試験50%、授業態度及び課題30%の100%満点 課題はフィードバック(および授業中で発表)します。						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1	10月5日	講義	マーケティングの基礎知識① 歴史から	前期で学んだことを復習・確認 ①予習は特に不要だが、出てきた重要用語を復習しておくこと ②興味のあるWEBサイト等を、どういう意図、目的等をマーケティングの視点で調べておくこと ③自分自身をブランディングする場合、どのような展開・構成にするかを考えておくこと	
2	10月12日	講義	SNSマーケティングの基本		
3	10月19日	講義	SNSマーケティングの戦略		
4	10月26日	講義	フォロワーの意味・コミュニケーションルール①		
5	11月2日	講義	フォロワーの意味・コミュニケーションルール②		
6	11月9日	講義	ユーザに好かれるシェア・されるコンテンツ①		
7	11月16日	講義	ユーザに好かれるシェア・されるコンテンツ②		
8	11月30日	講義	ユーザに好かれるシェア・されるコンテンツ③		
9	12月7日	講義	SNSから販売につなげる秘訣		
10	12月14日	講義	炎上のリスク		
11	12月21日	講義	個人情報保護法		
12	1月11日	講義	SNS運用の基本		
13	1月18日	講義	後期の復習		理解しているところとしていないところを確認する
14	1月25日	講義	筆記試験		
15	2月1日	講義	筆記試験の解答・解説 後期全体の復習		
準備学習 時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】					
SNSマーケティング見るだけノート(宝島社):レジュメで配布予定					

科目名	アニマルトレーニング I 1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石綿美香
学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)昼一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	上智大学外国語学部英語学科卒、英国出版社Euromoney勤務、D.I.N.G.O.副代表、ALETТА代表						
授業の学習 内容	<p>アニマルウェルフェアを考えるうえで欠かせないトレーニング。 人道的かつ科学的(動物行動学、行動分析学等)な方法を学ぶことを目標とする。 座学と実技を交互に実践することで、理解を深める。 またそれらをプロフェッショナルとして、他者に伝える事の練習。 実技部分に関しては、ALETТАバード・トレーニング・インストラクター達が直接学生の指導にあたる。</p>						
到達目標	トレーニングに関する基礎知識と技術を身につけ、就職後にはそれらを向き合う動物に活かし、また他者に伝えられるようになることを目標とする。						
評価方法と基準	定期試験 70% 小試験とレポート 20% 授業参加熱意 10% 筆記試験評価:S100~90 A89~80 B79~70 C69~60 F59~0						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	ZOOM/対面	この授業で目指すこと アニマルウェルフェアとトレーニング	本講座の目的と個々の目標確認
2	4月25日	ZOOM/対面	良いトレーニングのための下準備	相手を正しく知る(食事、体調、強化子など)
3	5月9日	ZOOM/対面	ボディサイン 観察と反応	動物のボディサインを知り、人間が適切な対処ができるようになること
4	5月16日	ZOOM/対面	PORTL体験	The Portable Operant Research and Teaching Labで学習の仕組みを体験
5	5月30日	ZOOM/対面	良い学習のための環境設定と適切な強化子選択	TPOに応じた強化子の使い分け、強化システム作り
6	6月6日	ZOOM/対面	クリッカー(マーカー)トレーニング	トレーニングツールのひとつクリッカーおよびその他マーカーの使い方を学ぶ
7	6月13日	ZOOM/対面	トレーニングと動画撮影&活用	動画を使う事でより細かい観察とレビューを可能に
8	6月20日	ZOOM/対面	シェイピング 行動の作り方	行動をどうやって伝えるか
9	6月27日	ZOOM/対面	学習の仕組み ABA基礎	トレーニングの基礎になる応用行動分析学の話
10	7月4日	ZOOM/対面	コンストラクショナルアプローチを考える	コンストラクショナルに考えるための基礎知識
11	7月11日	ZOOM/対面	人道的トレーニング基準LIMA	トレーニング手法選択の際の判断基準
12	7月18日	ZOOM/対面	社会化 環境変化を意識 般化	社会化トレーニングのメニューなど
13	8月29日	ZOOM/対面	前期復習とQ&A	これまで学んだことの復習と質疑応答
14	9月5日	ZOOM/対面	試験	テスト
15	9月12日	ZOOM/対面	試験答え合わせ等	テストの解説と今期の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アニマルトレーニングⅡ 1	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	石綿美香
学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)昼一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	上智大学外国語学部英語学科卒、英国出版社Euromoney勤務、D.I.N.G.O.副代表、ALETTA代表						
授業の学習 内容	<p>アニマルウェルフェアを考えるうえで欠かせないトレーニング。 人道的かつ科学的(動物行動学、行動分析学等)な方法を学ぶことを目標とする。 座学と実技を授業時間内に両方行うことで理解を深める。 またそれらをプロフェッショナルとして、他者に伝える事の練習。 実技部分に関しては、ALETTAバード・トレーニング・インストラクター達が直接学生の指導にあたる。</p>						
到達目標	<p>Least Intrusive Minimally Aversive(LIMA)の人道的なトレーニング基準を学び適切な手法を選べる目を養う。 PORTLなどを取り入れ動物にわかりやすいトレーニングをしっかりと学び、使えるようになる。トレーニングプランを立てることになれる。他者との情報共有や相手に伝えることを経験。</p>						
評価方法と基準	<p>定期試験 70% 小試験とレポート 20% 授業参加熱意 10% 筆記試験評価:S100~90 A89~80 B79~70 C69~60 F59~0</p>						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義	今年目指したいこと・昨年の振り返り アニマルウェルフェアとトレーニング	本講座の目的と個々の目標確認
2	4月25日	講義	PORTL体験 ラーナーにわかりやすいトレーニング	The Portable Operant Research and Teaching Labで学習の仕組みを人が体験
3	5月9日	講義	強化システム作り クリーンなトレーニング	強化子デリバリーを含め、PORTLの考え方で見直す
4	5月16日	講義	トレーニングと動画撮影の活用	トレーニングに動画を取り入れることでの利点 プログラムの見直しのすすめ
5	5月30日	講義	トレーニングプランの作り方	トレーニングプランをどうやって作るか
6	6月6日	講義	トレーニングプラン 実践・修正	実践してみたのプログラム見直しなど
7	6月13日	講義	トレーニングプラン 実践・修正	実践してみたのプログラム見直しなど
8	6月20日	講義	トレーニングプランに基づいた行動発表会	トレーニングした行動のティーチング過程などを含めた発表
9	6月27日	講義	さまざまなトレーニング方法と選択基準 LIMA	一般的に使われるさまざまなトレーニング手法と選択基準となるLIMA解説
10	7月4日	講義	コンストラクショナルアプローチを考える	コンストラクショナルに考えることの利点など
11	7月11日	講義	安全管理のためのトレーニング	飼育動物の安全を守るために必要な行動と教え方
12	7月18日	講義	安全管理のためのトレーニング	飼育動物の安全を守るために必要な行動と教え方
13	8月29日	講義	前期復習とQ&A	これまで学んだことの復習と質疑応答
14	9月5日	講義	試験	テスト
15	9月12日	講義	試験答え合わせ等	テストの解説と今期の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プレゼンテーション I	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員 野崎広治
学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制) 昼一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1	
教員の略歴	不動産会社・金融コンサルタントを経て、独立。現在は、キャリア相談、採用コンサル、企業研修講師などの活動を行う					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ●プレゼンテーションと聞くと「発表」という印象が強いが、広く考えると「自分を表現する方法」である。人間関係、仕事など様々な場面において、より良い結果を導くための考え方、表現、発信の方法を学ぶ。 ●社会で必要とされること、就職後起こりうることをテーマとして取り上げる。自分の意見を伝える、他人の意見を聞く、対話においてお互いを尊重し、より良い結果につながる力を身につけ、実習や社会で必要とされる人材へと成長して欲しいと願う。 ●本授業は、講師と学生・学生同士のディスカッションなど双方向の展開とする。そのため、普段一緒にいる仲の良い友人以外の学生との交流、講師への発表などは率先して行うこと。授業の質を高めるか、こなすだけ授業にするかは、学生の取り組み姿勢も影響することを忘れないで欲しい。 ●知識と技術は授業で学んだだけでは、習得(自分のもの)にすることができない。使いこなすために、学んだことは日常生活で実践を兼ねた復習を必ず行うこと。※CSUと関連性がある内容も含むため、CSU学んだことは理解している前提で授業を進める。 ●授業内容は学生のリクエスト、状況を見て変更することがある 					
到達目標	<p>前期は以下2点を到達目標とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ●<論理思考(ロジカルシンキング)> 発言・発表・資料・レポートなどの的確なアウトプットを目指し、物事を整理して正しくアウトプットする土台を作る ●<(人間関係含む)仕事・キャリアの考え方> 就職活動、社会人になるにあたり、仕事に関する物事の考え方を身につけ、対応できる土台を作る 					
評価方法と基準	<p>授業運営に大きな変更が生じた場合は変更する場合がある。</p> <p>①試験:50%・・・100点を1/2にする ②授業態度・提出物50%</p> <p>※②について、授業中の睡眠・電子機器の無許可使用・隠れて使用・人を馬鹿にする行為・仲間外れは即0点とする ※提出日までに各自講師へ提出(毎回のアナウンスはしない)。欠席・公欠・分散登校・休講などの理由により、提出日までに提出できない場合は、講師控え室の講師トレーに提出すること(受付窓口へ依頼)</p> <p>※①は評価表を用いて行う(評価項目、評価項目において基準を用いた評価) ※①②から最終評価を出す。(S100～90 A89～80 B79～70 C69～60 F59～0)</p> <p>追試・・・筆記試験 ※持ち込み不可</p>					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	本授業の取り組み方がわかる プレゼンテーションの捉え方がわかる	状況に応じて設定
2	4月25日	講義・演習	論理思考①:論理の意味の理解、論理の流れがわかり、簡単な論理を作ることができる	状況に応じて設定
3	5月9日	講義・演習	論理思考②:論理の意味の理解、論理の流れがわかり、論理を踏まえたプレゼンができる	状況に応じて設定
4	5月16日	講義・演習	ミーティング・ディスカッションの進め方:ミーティングやディスカッションを効果的に進めることができる	状況に応じて設定
5	5月30日	講義・演習	資料作成:資料作成を作成し、原稿を読まずにプレゼンテーションができる	状況に応じて設定
6	6月6日	講義・演習	仕事とキャリア①:社会の仕組み、働く理由、自分のキャリアを考える	状況に応じて設定
7	6月13日	講義・演習	仕事とキャリア②:社会の仕組み、働く理由、自分のキャリアに対して自分なりの解を出せる	状況に応じて設定
8	6月20日	講義・演習	就職活動準備:就職活動の準備、求められることを理解し、今後のアクションプランを考える	授業後課題:履歴書のバージョンアップをする
9	6月27日	講義・演習	セルフマネジメント①:物事の捉え方を学び、様々な事象に対して、効果的な解を出せる	状況に応じて設定
10	7月4日	講義・演習	セルフマネジメント②:物事の捉え方を学び、様々な事象に対して、効果的な解を出せる	状況に応じて設定
11	7月11日	講義・演習	グループプレゼンテーション① プレゼンに向けて情報収集を行う	グループ進捗により各自作業
12	7月18日	講義・演習	グループプレゼンテーション② 情報収集の続きと、発表資料作成口	グループ進捗により各自作業
13	8月29日	講義・演習	グループプレゼンテーション③ 発表資料作成の続きと発表、フィードバック口	グループ進捗により各自作業
14	9月5日	試験	試験実施	なし
15	9月12日	講義・演習	評価の仕組みを知る。前期の振り返りを行い、学びの言語化、後期へ向けた行動を明確にし成長につなげる	後期の学生生活の過ごし方を考える
準備学習 時間外学習			授業前課題・授業後の課題などあり。適宜提示	
【使用教科書・教材・参考書】				
講師作成資料 Teams ※PC、スマートフォン、タブレットなどの電子機器は許可した場合のみ使用可能				

科目名	応用行動分析学Ⅲ	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	落合知美
学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)昼一	授業 形態	講義・ 演習	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	農学修士、大学勤務(京都大学霊長類研究所、東京大学農学研究科、武庫川女子大学)、NPO法人市民ZOOネットワーク理事						
授業の学習 内容	動物のためによりよい飼育管理をおこなうには、動物の行動を科学的に捉え、動物がなぜそのような行動をおこなうのかを理解し、環境や行動を変化させてより好ましい状態を作る手法が有効である。こうした手法は、動物の飼育管理を簡単にするだけでなく、動物自身のストレスの減少や生活の質(QOL)向上にも役立つ。 本講義では、動物園での行動管理について知るとともに、行動分析学の基礎を学び、それを応用させて行動を望ましいものにシェイピングする方法について実習をおこない、実践的に学んでいく。 授業はZOOMでおこない、毎回、授業時間中にレポートを完成させ、提出してもらいます。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・飼育動物の望ましくない行動と行動管理について理解する ・行動を科学的にとらえ、測定・評価する方法について学ぶ ・行動分析学の基礎について学び、応用行動分析学について知る ・強化の原理について正しく理解する ・シェイピングの手法について実践的に学ぶ ・自分の意見や感想を記述する練習をする 						
評価方法と基準	授業ごとのレポート 30% 期末テスト 70%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義	イントロダクション:教員の紹介と前期の授業内容、講義の進め方について	動物園動物の行動理解について確認
2	4月27日	講義	動物園での行動の管理:収容と放飼、給餌、健康管理、繁殖制限など	飼育動物の問題行動を知る
3	5月11日	講義	動物の望ましくない行動:柵なめ行動、ペーシング、糞食、過度のケンカなど	
4	5月18日	講義	動物園での行動管理の歴史:優位性の利用と即賞即罰	
5	5月25日	講義	動物園の動物の行動を分析する:行動レポートリとその時間配分について	行動の原理について興味を持つ
6	6月1日	講義	心理学の様々な分野と行動分析学について:心理学の歴史を中心に	
7	6月15日	講義	行動分析学の歴史と発展:スキナー箱、オペラント条件付け、ヒトへの応用	
8	6月22日	講義	強化とは何か:強化の種類と量、そのタイミングについて理解する	応用行動分析学(ABA)の理解と応用
9	6月29日	講義	シェイピングとは何か:行動を細分化し、段階的に行動を完成させる	
10	7月6日	講義	行動強化を利用する:海外動物園での展示手法からわかること	
11	7月13日	講義	動物についての考え方:ハル・マーコウィッツによる動物園での行動強化	
12	7月20日	講義	日常生活での応用動物行動学:SNS依存症を例に考える	今までの講義の疑問点を明らかにしておく
13	8月31日	講義	《復習》動物園で観察される行動の問題と、行動分析学の歴史と利用	
14	9月7日	講義・試験	テスト対策・60分の筆記試験	試験範囲からの予習と対策
15	9月14日	講義	テスト結果からの振り返り	試験範囲からの復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】動物園動物管理学(2014)村田浩一、楠田哲士監訳 建築知識特別編集 20歳まで猫が元気に長生きできる住まい(2019)荒堀みのり 落合知美他監修				

科目名	経営学1	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	野崎広治
学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)昼一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	不動産会社・金融コンサルタントを経て、独立。現在は、キャリア相談、採用コンサル、企業研修講師などの活動を行う						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・経営資源「ヒト」「モノ」「カネ」の理解を深める。前期は「ヒト」、後期は「モノ」「カネ」を扱う ・経営・マーケティング視点を醸成することで就職後、次世代リーダーとして長期的なキャリア形成の実現を目指す。 ・就職後、リーダー、店長など現場を統括するためのマネジメント力、リーダーシップ力、人材育成力の土台を作る。 ・後期はマーケティングの実践を行、企画→実行を行う予定である。そのため、WEBマーケティングの授業における、WEBの基礎知識、マーケティングを学習していることを踏まえて授業を進めるので、しっかり学びを得ておくこと。 ・学生の状況などを踏まえ課題、授業内容など柔軟に対応していく。授業は講師が一方的に作るのではなく、学生とともに作っていくものだと考えている。学びたいことなどがあれば、遠慮なく提案してほしい。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ①会社の仕組みを知り、人マネジメントの仕組み、流れがわかる。 ②自分自身の課題抽出と成長を導き出し、自らの自己成長PDCAが回せるようになる 						
評価方法と基準	<p>授業運営に大きな変更が生じた場合は変更する場合がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①試験・・・50% 100点を1/2にする ②授業態度(個人の取り組み・提出物・360度評価)・・・25% ③授業態度(グループ・クラス全体への取り組み)・・・25% <p>※①と③を踏まえ最終評価を出す。(S100～90 A89～80 B79～70 C69～60 F59～0)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の提出遅れ・未提出について忌引き、事故病気による入院、指定感染症への感染、(課題提示時～提出までの間)、研修参加の場合は減点評価をしない。自己管理の徹底も取り組みの1つである。友人と情報共有を行い、また体調不良になる可能性も含め、早めに取り組むこと。 ・提出物を提出しても基準に満たないものは未提出と同等の評価とする。 ・試験の点数が高く、静かに授業を聞けば良い成績になるというものではない。個人の成長、成長への取り組み、クラスへの貢献が見られなければF判定となる可能性が高い。プロセスを評価するため社会人を意識して主体的に取り組むことを期待する。 ・詳細は授業第一回目で説明する。 						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義	本授業の進め方や概要を理解する・経営学を学ぶことの意味を理解する	適宜提示
2	4月25日	講義	【会議ファシリテーション】 会議の進行の方法を理解し、実践を通じて会議運営ができるようになる	課題:会議ファシリテーションの練習 課題:会議報告書の作成・提出
3	5月9日	講義		
4	5月16日	講義		
5	5月30日	講義	【組織運営と人材マネジメント】 ●G-PDCA ケーススタディを通じてG-PDCAを理解し、日常で活用できるようになる ●人材育成と動機付け 育成のポイント、1ON1ミーティングのポイントを実践形式で身につける*DiSC理論を活用するため復習しておくこと。復習の時間は取らない。 ●生産性向上 QCD・WBS・ガントチャートの理解と作成方法を学び、進捗管理、生産性向上の手法を身につける ●リーダーシップ・フォロワーシップ 自分自身だけでなく、チーム全体のパフォーマンスを高める方法を身につける	事前学習:DiSC理論
6	6月6日	講義		適宜提示
7	6月13日	講義		適宜提示
8	6月20日	講義		適宜提示
9	6月27日	講義		適宜提示
10	7月4日	講義		適宜提示
11	7月11日	講義		適宜提示
12	7月18日	講義		適宜提示
13	8月29日	講義	前期の振り返りと自身の課題抽出ができる	
14	9月5日	試験	試験実施(60分)	
15	9月12日	講義	前期の振り返りを行い、学びの言語化、後期へ向けた行動を明確にし成長につなげる	
準備学習 時間外学習			授業前課題・授業後の課題などあり。適宜提示	
【使用教科書・教材・参考書】				
講師作成資料 Teams ※PC、スマートフォン、タブレットなどの電子機器は許可した場合のみ使用可能				

科目名	公衆衛生Ⅱ1	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	高山清次
学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)昼一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	麻布大学大学院博士課程修了(獣医学博士)						
授業の学習 内容	感染症のしくみを学び、理解し明確な知識を持って、動物関係の仕事をする時、感染症の予防ができるようになることを目的としている。						
到達目標	この科目を受講した学生が、動物飼育の仕事に携わる時、感染症予防の知識を持って、行動できることを目標とする。						
評価方法と基準	定期試験の結果(80%)に平常点(20%)を加味して評価する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義	感染症の成立を理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
2	4月24日	講義	感染と発症を理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
3	5月8日	講義	感染経路について理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
4	5月15日	講義	滅菌法、消毒法について理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
5	5月22日	講義	①ワクチンについて理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
6	5月29日	講義	②ワクチンについて理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
7	6月5日	講義	細菌:①大きさ、構造について、理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
8	6月12日	講義	細菌:②分類について、理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
9	6月19日	講義	細菌:③予防法と治療について、理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
10	6月26日	講義	細菌:④細菌感染症について、理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
11	7月3日	講義	特殊な細菌:①マイコプラズマについて理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
12	7月10日	講義	特殊な細菌:②クラミジアについて理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
13	8月28日	講義	特殊な細菌:③リケッチアについて理解することができる。	講義範囲の予習・復習をする。
14	9月4日	試験	講義範囲の評価試験	試験範囲を勉強し、試験後、見直す。
15	9月11日	講義	評価試験返却・解説・まとめ	講義範囲を振り返り、理解を深める。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
学校の図書室にある感染予防学関係の本やインターネットを利用する。				

科目名	公務員対策講座 I	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	脇坂文栄
学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制) 昼一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴							
授業の学習 内容	① 中学・高校で学んだ基本的な知識の復習、各種試験の演習を通して、公務員試験、並びに採用試験の一般教養テストの対策を行う。 ② 講義と演習を通して、社会人として必要とされる一般教養を身につける。 ③ 時事問題について学びながら、常に世の中の動きを意識する習慣をつけ、採用の際の作文課題や面接試験に備える。						
到達目標	① 公務試験や採用試験に合格するための正解率を目標とする。 ② 仕事場で様々なバックグラウンドを持つ人々と交流することを想定し、広い分野の知識を増やし、円滑なコミュニケーションが取れるようにする。						
評価方法と基準	出席点・授業態度・課題・小テストなど 50% 期末テスト 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義	講義概要	① 準備学習、時間外学習は特に必要ないが、ニュース等を通じて、常に世の中で起こっていることを知っておくようにすることが望ましい。 ② 授業で学んだことの中で興味のある分野については、関連図書を読むなど、自ら積極的に知識を増やすよう努力することが望ましい。
2	4月27日	講義	SCOAテスト: 言語(熟語・慣用句・故事成語・長文読解)	
3	5月11日	講義	SCOAテスト: 数理(四則計算・方程式・数列・数的推理)	
4	5月18日	講義	SCOAテスト: 論理(サイコロ・推理・判断推理)	
5	5月25日	講義	SCOAテスト: 常識(社会・理科)	
6	6月1日	講義	SCOAテスト: 英語(単語の意味・前置詞・関係代名詞他)	
7	6月15日	講義	公務員試験 一般知能・数的推理①	
8	6月22日	講義	公務員試験 一般知能・数的推理②	
9	6月29日	講義	公務員試験 一般知能・数的推理③	
10	7月6日	講義	公務員試験 一般知能・判断推理①	
11	7月13日	講義	公務員試験 一般知能・判断推理②	
12	7月20日	講義	公務員試験 一般知能・判断推理③	
13	8月31日	講義	前期授業の復習	
14	9月7日	講義・試験	前期試験	
15	9月14日	講義	試験解答の確認・解説	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
①合格公務員！教養試験実践問題集2025年度版 ②最新最強の地方公務員 初級'24年度版				

科目名	公務員対策講座Ⅲ	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	木村晋朗
学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)昼一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	45 1		
教員の略歴	ロジカルシンキング・交渉指導、資格試験指導など						
授業の学習 内容	初級の地方公務員試験の基礎～応用問題を解く力を身につけます。 一般企業採用時の教養試験対策を行います。 幅広く一般教養を勉強し、専門性を活かすために土台とします。						
到達目標	初級の地方公務員試験の問題で、合格できる正解率を目標とします。 就職試験にも対応できる基礎力を身につけることを目標とします。						
評価方法と基準	定期試験の得点80%、出席点・授業態度・小テスト・課題など20%とし、以上の合計を100点(満点)とする。 筆記試験評価: GPA(A:100～90、B:89～80、C:79～70、D69～60、F59以下(不合格)) 再試験: 欠点が認められた者のみが受験可。追試験を1回実施し、合格した場合はDの評価とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義	公務員試験の概要を理解する。	「教科書の使い方」「実施状況」を読んでおく。
2	4月26日	講義・演習	政治分野の問題を解くことができる。	授業で解いた問題の復習・宿題
3	5月10日	講義・演習	政治分野の問題を解くことができる。	授業で解いた問題の復習・宿題
4	5月17日	講義・演習	経済分野の問題を解くことができる。	授業で解いた問題の復習・宿題
5	5月31日	講義・演習	経済分野の問題を解くことができる。	授業で解いた問題の復習・宿題
6	6月7日	講義・演習	倫理・社会分野の問題を解くことができる。	授業で解いた問題の復習・宿題
7	6月14日	講義・演習	世界史分野の問題を解くことができる。	授業で解いた問題の復習・宿題
8	6月21日	講義・演習	世界史分野の問題を解くことができる。	授業で解いた問題の復習・宿題
9	6月28日	講義・演習	日本史分野の問題を解くことができる。	授業で解いた問題の復習・宿題
10	7月5日	講義・演習	日本史分野の問題を解くことができる。	授業で解いた問題の復習・宿題
11	7月12日	講義・演習	地理分野の問題を解くことができる。	授業で解いた問題の復習・宿題
12	7月19日	講義・演習	地理分野の問題を解くことができる。	授業で解いた問題の復習・宿題
13	8月30日	講義・演習	試験前の復習	試験のために範囲全体を振り返る。
14	9月6日	試験	前期試験	試験準備
15	9月13日	講義	試験解答の確認・解説	前期のまとめ
準備学習 時間外学習			新聞、若しくは、関心を持てる分野の新書を読む。	
【使用教科書・教材・参考書】				
2025年度版 合格公務員! 教養試験 実戦問題集, 高橋書店, 2023, 最新最強の地方公務員問題 初級 '24年版, 成美堂出版, 2022				

科目名	公務員対策講座Ⅴ	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	木村晋朗
学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)昼一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	45 1		
教員の略歴	ロジカルシンキング・交渉指導、資格試験指導など						
授業の学習 内容	初級の地方公務員試験の基礎～応用問題を解く力を身につけます。 一般企業採用時の教養試験対策を行います。 幅広く一般教養を勉強し、専門性を活かすために土台とします。						
到達目標	初級の地方公務員試験の問題で、合格できる正解率を目標とします。 就職試験にも対応できる基礎力を身につけることを目標とします。						
評価方法と基準	定期試験の得点80%、出席点・授業態度・小テスト・課題など20%とし、以上の合計を100点(満点)とする。 筆記試験評価: GPA(A:100～90、B:89～80、C:79～70、D69～60、F59以下(不合格)) 再試験: 欠点が認められた者のみが受験可。追試験を1回実施し、合格した場合はDの評価とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義	公務員試験の概要を理解する。	「教科書の使い方」「実施状況」を読んでおく。
2	4月26日	講義・演習	政治分野の問題を解くことができる。	授業で解いた問題の復習・宿題
3	5月10日	講義・演習	政治分野の問題を解くことができる。	授業で解いた問題の復習・宿題
4	5月17日	講義・演習	経済分野の問題を解くことができる。	授業で解いた問題の復習・宿題
5	5月31日	講義・演習	経済分野の問題を解くことができる。	授業で解いた問題の復習・宿題
6	6月7日	講義・演習	倫理・社会分野の問題を解くことができる。	授業で解いた問題の復習・宿題
7	6月14日	講義・演習	世界史分野の問題を解くことができる。	授業で解いた問題の復習・宿題
8	6月21日	講義・演習	世界史分野の問題を解くことができる。	授業で解いた問題の復習・宿題
9	6月28日	講義・演習	日本史分野の問題を解くことができる。	授業で解いた問題の復習・宿題
10	7月5日	講義・演習	日本史分野の問題を解くことができる。	授業で解いた問題の復習・宿題
11	7月12日	講義・演習	地理分野の問題を解くことができる。	授業で解いた問題の復習・宿題
12	7月19日	講義・演習	地理分野の問題を解くことができる。	授業で解いた問題の復習・宿題
13	8月30日	講義・演習	試験前の復習	試験のために範囲全体を振り返る。
14	9月6日	試験	前期試験	試験準備
15	9月13日	講義	試験解答の確認・解説	前期のまとめ
準備学習 時間外学習			新聞、若しくは、関心を持てる分野の新書を読む。	
【使用教科書・教材・参考書】				
2025年度版 合格公務員! 教養試験 実戦問題集, 高橋書店, 2023, 最新最強の地方公務員問題 初級 '24年版, 成美堂出版, 2022				

科目名	動物の体のしくみ I	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	長嶺幸介
学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)昼一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	競走馬牧場・乗馬クラブ・総合ペットショップ・移動動物園・NPO法人生態科学研究機構副理事						
授業の学習 内容	動物たちは種ごと、個体ごとに体のしくみや特徴が異なる。教科書では犬が中心の解剖学のものであるが、他の動物も比較し、織り交ぜながら、動物たちの基本的な体の仕組みを理解し、適切な取り扱いや管理ができるようにする。						
到達目標	基本的な動物の体のしくみを理解する。部位や構造などの専門用語を読み書きできる。これらを踏まえて、構造や働き、仕組みなどをしっかりと理解し記憶し、動物たちに接する際、自らが正しい扱いができ、正常な状態を知り、早期に異常に気づき、間違った扱いを正すこともできる。						
評価方法と基準	定期試験において60点以上を合格とする						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義	皮膚や皮膚線の構造や働きを理解できる	
2	4月21日	講義	角質器の構造や違いを理解できる	前回の授業の復習
3	4月28日	講義	口腔内や歯の構造や働きを理解できる	前回の授業の復習
4	5月12日	講義	口蓋と舌の構造や働きを理解できる	前回の授業の復習
5	5月19日	講義	咽頭と食道の構造や働きを理解できる	前回の授業の復習
6	5月26日	講義	胃の構造や働きを理解できる	前回の授業の復習
7	6月2日	講義	小腸の構造や働きを理解できる	前回の授業の復習
8	6月16日	講義	大腸の構造や働きを理解できる	前回の授業の復習
9	6月23日	講義	肝臓と胆嚢の構造や働きを理解できる	前回の授業の復習
10	6月30日	講義	膵臓の構造や働きを理解できる	前回の授業の復習
11	7月7日	講義	腎臓の構造や働きを理解できる	前回の授業の復習
12	7月14日	講義	尿管・尿道・膀胱の構造や働きを理解できる	前回の授業の復習
13	9月1日	講義	鼻腔や気管などの構造や働きを理解できる	前回の授業の復習
14	9月8日	試験	筆記試験	前回までの授業の復習
15	9月15日	講義	試験解説と前期まとめ	前期の授業の総復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 教科書「体のしくみ」と参考文献は必要に応じて随時使用				

科目名	馬学	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	長嶺幸介
学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)昼一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	競走馬生産イヤリング牧場、乗馬クラブ、総合ペットショップ、移動動物園、NPO法人生態科学研究機構副理事長						
授業の学習 内容	本専攻は動物園、移動動物園、観光牧場、競走馬関連牧場、など馬に関わる仕事につくケースも多い。また障害者乗馬、アニマルセラピー、動物行動学などの分野でも馬を扱う事象が増えている。 馬について基本的な知識や扱い方を学ぶ授業です。 馬は産業動物の中でも特殊な関わり方であり、馬という動物の素晴らしさを知ってほしいと思っています。 実際の現場で必要な知識や扱う技術について知り、理解し、多様な現場において、実際に対応できることを目指します。 映像や実際の道具を見てもらったり、ロープワークなどを取り入れ、実際に対応できるよう実例を取り上げながらわかり易い内容にする。						
到達目標	馬の歴史と進化について理解できる。品種や用途について理解できる。馬の体と生態、習性について理解できる。馬具や乗馬について理解できる。仕事に必要なロープワーク技術を身につける。 これらの内容を踏まえ、基本的な知識や技術を習得し、適切な取り扱いと飼育管理ができることを目標とする。						
評価方法と基準	定期試験60点以上で合格とする。追試は1回(不合格者と公欠者)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義	科目について目標と目的を理解して、どう授業に向き合うか学ぶ。 馬の歴史と進化について理解できる	なんの資料も見ずに、馬について自分で持つイメージを書き出してみる。
2	4月24日	講義	品種や用途について理解する	前回の授業のノートを整理する
3	5月8日	講義	食性と飼料について理解できる	前回の授業のノートを整理する プリントを確認し馬体名称を覚える
4	5月15日	講義	食性以外の習性について理解できる	前回の授業のノートを整理する プリントを確認し馬体名称を覚える
5	5月22日	講義	感覚器の構造と特徴について理解できる	前回の授業のノートを整理する プリントを確認し馬体名称を覚える
6	5月29日	講義	馬体の特徴や名称、蹄・削蹄・装蹄について理解する。	前回の授業のノートを整理する プリントを確認し馬体名称を覚える
7	6月5日	講義	保定方法と必要な道具と使い方について学び正しく使えるように	前回の授業のノートを整理する プリントを確認し馬体名称を覚える
8	6月12日	実技実習	仕事で使うロープワーク技術を身につける	前回の授業のノートを整理する プリントを確認し馬体名称を覚える
9	6月19日	実技実習	仕事で使うロープワーク技術を身につける	前回の授業のロープワークで覚えた結び方を復習する
10	6月26日	講義	飼養する馬の登録について理解する	前回の授業のロープワークで覚えた結び方を復習する
11	7月3日	講義	個体識別方法について理解する	前回の授業のノートを整理する プリントを確認し個体識別について覚える
12	7月10日	講義	悪癖について学び正しく対処できるようにする	前回の授業のノートを整理する プリントを確認し個体識別について覚える
13	8月28日	講義	馬具の名称や使用方法を理解し正しく扱うことができる	前回の授業のノートを整理する
14	9月4日	試験	筆記試験	授業内容と試験範囲の確認 試験対策だけでなく覚えるべきことを整理し覚える
15	9月11日	講義	乗馬について、形式や騎乗者資格などについて理解できる	授業の中で解らないこと、確認したいことなどをまとめ、授業内で質問する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
教科書はなし。必要に応じて随時参考資料等を使用。馬具や手入れ道具、ロープ、ビデオなどを使用。				

科目名	経営学 I	必修 選択	選択	年次	3	担当教員 中村 美穂
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制(昼 ー)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1	
教員の略歴	企業にてエンジニア、人事部門での教育、採用を経験後、独立。現在は、研修講師、キャリアカウンセラーとして従事。					
授業の学習 内容	水族館は複数の人が共に働き、生き物を通じて世の中に価値を提供する「組織」であり「企業」です。企業が生き物を通じて世の中に価値提供し続けるために何が必要でしょうか。企業が成長発展するためには、ヒト、モノ、カネ、情報といった資源をいかに効果的に使うかが求められます。本授業では、特にモノ、カネ、情報に焦点をあて、考え方や仕組み、分析方法などの知識を養います。企業を見る力を増やすだけでなく、企業組織で働く際により広い視点で仕事を見て動ける力をつけることを目指します。					
到達目標	【プロジェクトマネジメント・思考力】 【マーケティング・思考力】マーケティングとは何か全体像を知る。マーケティング戦略を考えるうえで必要な、論理的思考と批判的思考を理解し、仮説・検証ができる力を養う。企業活動、プロジェクトで発生する問題、今後発生する問題に対し、真因を考え解決策を構築できる。解決策を実行するための計画立案や課題管理、進捗管理が実践できるようになる。					
評価方法と基準	【評価方法】 1) 定期試験70% 2) 授業態度20% 3) 出席数10% 【評価基準】 1) 定期試験は、各設問について、授業内での実施事項を踏まえ回答する。各設問ごとに点数を設け、合算して算出する。 2) 授業態度は、授業参加姿勢や授業後の実践の取り組み状況、提出物の有無、内容を含む。					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義、演習	【オリエンテーション】本授業の進め方や概要がわかる	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
2	4月26日	講義、演習	【会社とは①】ワークを通じて企業活動の仕組みを体感し、企業活動のイメージが広がる	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
3	5月10日	講義、演習	【会社とは②】ワークを振り返り、企業活動の仕組みを理解できる	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
4	5月17日	講義、演習	【プロジェクトマネジメント①】プロジェクトとプロジェクト管理の要素について理解する	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
5	5月31日	講義、演習	【プロジェクトマネジメント②】プロジェクト計画書の策定項目を知り、作成する	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
6	6月7日	講義、演習	【プロジェクトマネジメント③】計画策定(WBS)の構築方法を理解する	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
7	6月14日	講義、演習	【プロジェクトマネジメント④】プロジェクト実行時の管理項目を知り、管理方法を理解する	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
8	6月21日	講義、演習	【問題解決①】根拠立てて物事を考えることができるようになる(ロジカル思考)	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
9	6月28日	講義、演習	【問題解決②】物事を深く広く考えることができる(MECE)	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
10	7月5日	講義、演習	【問題解決③】問題を設定し原因を追究する方法を理解する(ロジックツリー)	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
11	7月12日	講義、演習	【問題解決④】ケーススタディ①	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
12	7月19日	講義、演習	【問題解決⑤】ケーススタディ②	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
13	8月30日	講義、演習	【問題解決⑥】ケーススタディ③	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
14	9月6日	前期試験	前期試験	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
15	9月13日	振り返り	テスト結果を振り返り、前期学習内容の更なる理解を深める	・授業終了時に立てた行動計画を実践する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	公務員対策講座Ⅲ	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	脇坂文栄
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制(昼一)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30		
教員の略歴							
授業の学習 内容	①中学・高校で学んだ基本的な知識の復習、各種試験の演習を通して、公務員試験、並びに採用試験の一般教養テストの対策を行う。 ②講義と演習を通して、社会人として必要とされる一般教養を身につける。 ③時事問題について学びながら、常に世の中の動きを意識する習慣をつけ、採用の際の作文課題や面接試験に備える。						
到達目標	①公務員試験や採用試験に合格するための正解率を目標とする。 ②仕事場で様々なバックグラウンドを持つ人々と交流することを想定し、広い分野の知識を増やし、円滑なコミュニケーションが取れるようにする。						
評価方法と基準	出席点・授業態度・課題・小テストなど 50% 期末テスト 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	事前学習
1		講義・演習	講義概要	
2		講義・演習	SCOAテスト: 言語(熟語・慣用句・故事成語・長文読解)	サンプル問題
3		講義・演習	SCOAテスト: 数理(四則計算・方程式・数列・数的推理)	復習問題: SCOAテスト言語
4		講義・演習	SCOAテスト: 論理(サイコロ・推論・判断推理)	復習問題: SCOAテスト数理
5		講義・演習	SCOAテスト: 常識(社会・理科)	復習問題: SCOAテスト論理
6		講義・演習	SCOAテスト: 英語(単語の意味・前置詞・関係代名詞他)	復習問題: SCOAテスト常識
7		講義・演習	公務員試験 一般知能: 数的推理①	復習問題: SCOAテスト英語
8		講義・演習	公務員試験 一般知能: 数的推理②	復習問題: 公務員試験 数的推理①
9		講義・演習	公務員試験 一般知能: 数的推理③	復習問題: 公務員試験 数的推理②
10		講義・演習	公務員試験 一般知能: 判断推理①	復習問題: 公務員試験 数的推理③
11		講義・演習	公務員試験 一般知能: 判断推理②	復習問題: 公務員試験 判断推理①
12		講義・演習	公務員試験 一般知能: 判断推理③	復習問題: 公務員試験 判断推理②
13		講義・演習	前期授業の復習	復習問題: 公務員試験 判断推理③
14		試験	前期試験	前期試験準備
15		講義	試験解答の確認・解説	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 ①合格公務員！教養試験実践問題集2025年度版 ②最新最強の地方公務員 初級'24年度版				

科目名	公務員対策講座 V	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	脇坂文栄
学科・コース	エコ・コミュニケーション科3年制(昼)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30		
教員の略歴							
授業の学習 内容	<p>① 中学・高校で学んだ基本的な知識の復習、各種試験の演習を通して、公務員試験、並びに採用試験の一般教養テストの対策を行う。</p> <p>② 講義と演習を通して、社会人として必要とされる一般教養を身につける。</p> <p>③ 時事問題について学びながら、常に世の中の動きを意識する習慣をつけ、採用の際の作文課題や面接試験に備える。</p>						
到達目標	<p>① 公務員試験や採用試験に合格するための正解率を目標とする。</p> <p>② 仕事場で様々なバックグラウンドを持つ人々と交流することを想定し、広い分野の知識を増やし、円滑なコミュニケーションが取れるようにする。</p>						
評価方法と基準	<p>出席点・授業態度・課題・小テストなど 50%</p> <p>期末テスト 50%</p>						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	事前学習
1		講義・演習	講義概要	
2		講義・演習	SCOAテスト: 言語(熟語・慣用句・故事成語・長文読解)	サンプル問題
3		講義・演習	SCOAテスト: 数理(四則計算・方程式・数列・数的推理)	復習問題: SCOAテスト言語
4		講義・演習	SCOAテスト: 論理(サイコロ・推論・判断推理)	復習問題: SCOAテスト数理
5		講義・演習	SCOAテスト: 常識(社会・理科)	復習問題: SCOAテスト論理
6		講義・演習	SCOAテスト: 英語(単語の意味・前置詞・関係代名詞他)	復習問題: SCOAテスト常識
7		講義・演習	公務員試験 一般知能: 数的推理①	復習問題: SCOAテスト英語
8		講義・演習	公務員試験 一般知能: 数的推理②	復習問題: 公務員試験 数的推理①
9		講義・演習	公務員試験 一般知能: 数的推理③	復習問題: 公務員試験 数的推理②
10		講義・演習	公務員試験 一般知能: 判断推理①	復習問題: 公務員試験 数的推理③
11		講義・演習	公務員試験 一般知能: 判断推理②	復習問題: 公務員試験 判断推理①
12		講義・演習	公務員試験 一般知能: 判断推理③	復習問題: 公務員試験 判断推理②
13		講義・演習	前期授業の復習	復習問題: 公務員試験 判断推理③
14		試験	前期試験	前期試験準備
15		講義	試験解答の確認・解説	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 ①合格公務員！教養試験実践問題集2025年度版 ②最新最強の地方公務員 初級'24年度版				

科目名	卒業研究Ⅱ(早坂ゼミ)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	早坂誠
学科・コース	エコ・コミュニケーション科2年制(昼一)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	有限会社エイチ・ツー代表取締役						
授業の学習 内容	ゼミで制作するための 水草レイアウト水槽の制作・管理・展示の実施。 つくば実験植物園において8/10～8/20に開催されるグラスアクアリウムのワークショップの企画立案・運営の実施。 橋高島屋、夏の水槽展示の設置・水槽管理の実施 カルチャーセンター依頼。夏休み子供向けのワークショップのスタッフ運営 その他予定しているイベントでの水槽制作や水槽管理の実施。						
到達目標	水草レイアウト水槽の制作・管理技術を習得する。 水槽内における構図の作り方を習得する。 ワークショップの企画・運営を実施から、就職後同様の対応力を習得する。 ワークショップを通じて接客技術の向上を習得する。 各イベントの参加により、社会人に向けて適応出来る心理を目指す。 アクアリウム業界を通じて社会に貢献できるシステムを理解し、実践できるようになる。						
評価方法と基準	水槽評価 70% 定期的な管理レポート提出30% 水槽評価項目：水草が健康に生育しているか(20/100)・藻類発生予防と対策が適切にされているか(10/100)・適切な水槽管理がなされていたか(20/100)・班員全員が同じ目標で協力できたか(10/100)・構図がしっかりと組まれているか(10/100)・長期維持ができるか(10/100)・水槽の完成度、美しさ(10/100)・魚にとって棲みやすい環境であるか(10/100) 評価：GPA(S100～90 A89～80 B79～70 C69～60 F59～0)						

2年 卒業研究 授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義	半期の授業内容を説明、当科目の最終目標の水槽例を確認。今後の授業を理解することができ		水草水槽設置
2	4月25日	実習	制作予定水槽の整理整頓・仕組みの再確認と内容の理解		授業以外での水槽管理を時間外学習に充てる
3	5月9日	実習	イベント内容の再確認。スタッフの割り振り		授業以外での水槽管理を時間外学習に充てる
4	5月16日	実習	水槽制作班の決定 構図の制作		授業以外での水槽管理を時間外学習に充てる
5	5月30日	実習	水草レイアウト水槽制作を実践できる。 構図制作		授業以外での水槽管理を時間外学習に充てる
6	6月6日	実習	水草レイアウト水槽制作を実践できる。 構図制作		授業以外での水槽管理を時間外学習に充てる
7	6月13日	実習	水草レイアウト水槽制作を実践できる→ 水草準備・植栽		授業以外での水槽管理を時間外学習に充てる
8	6月20日	実習	水草レイアウト水槽制作を実践できる→ 水槽管理実習		授業以外での水槽管理を時間外学習に充てる
9	6月27日	実習	水草レイアウト水槽制作を実践できる→ 水槽管理実習		授業以外での水槽管理を時間外学習に充てる
10	7月4日	実習	水草レイアウト水槽制作を実践できる→ 水槽管理実習		授業以外での水槽管理を時間外学習に充てる
11	7月11日	実習	つくば実験植物園見学・ワークショップ 運営の企画・運営に対しディスカッション		授業以外での水槽管理を時間外学習に充てる
12	7月18日	実習	水草レイアウト水槽制作を実践できる→ 水槽管理実習		授業以外での水槽管理を時間外学習に充てる
13	8月29日	実習	水草レイアウト水槽制作を実践できる→ 水槽管理実習		授業以外での水槽管理を時間外学習に充てる
14	9月5日	講義・試験	管理レポートの最終提出。水槽評価の実施。		レイアウト水槽をブラッシュアップするために構図、管理方法の見直しを行う
15	9月12日	講義	テスト結果からの振り返りを行うことで、長期間水槽メンテナンス方法の理解を深める		試験範囲から、誤答した箇所の復習を行い理解を深める
準備学習 時間外学習			事後学習を通じて深く学び、準備学習を行うことで授業内での学びの展開を促す。		
【使用教科書・教材・参考書】					
教科書「水草水槽のススメ」 参考資料「デュプラジャパン理想的な水槽」					

科目名	動物の体のしくみ I	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	藤田智子
学科・コース	エコ・コミュニケーション科 3年制 昼一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	農獣医学部卒業後、千葉県鴨川シーワールド入社。海獣飼育員として勤務。						
授業の学習 内容	基本的な動物の体の構造や骨格、生理的な知識を学ぶ。						
到達目標	飼育環境の改善、体調不良の原因を考えられるようになれば良い						
評価方法と基準	定期試験 80% 授業態度 20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義	ガイダンス	テキスト・ノート確認
2	4月26日	講義	表皮・真皮を説明できる。	テキスト・ノート確認
3	5月10日	講義	末端血流について説明できる。	テキスト・ノート確認
4	5月17日	講義	乳腺について説明できる。	テキスト・ノート確認
5	5月31日	講義	動物の表皮について説明できる。	テキスト・ノート確認
6	6月7日	講義	汗、体温調節について説明できる。	テキスト・ノート確認
7	6月14日	講義	体毛について説明できる。	テキスト・ノート確認
8	6月21日	講義	食事、栄養について説明できる。	テキスト・ノート確認
9	6月28日	講義	栄養成分について説明できる。	テキスト・ノート確認
10	7月5日	講義	海獣の食事について説明できる。	テキスト・ノート確認
11	7月12日	講義	咽頭と喉頭の違いについて説明できる。	テキスト・ノート確認
12	7月19日	講義	鯨類の咽頭・喉頭・食道について説明できる。	テキスト・ノート確認
13	8月30日	講義	前期の授業内容をまとめ、説明できる。	
14	9月6日	試験	筆記試験	
15	9月13日	講義	振り返り	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
JESC動物の体のしくみ				

科目名	動物の体のしくみⅡ	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	藤田智子
学科・コース	エコ・コミュニケーション科 3年制 昼一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	農獣医学部卒業後、千葉県鴨川シーワールド入社。海獣飼育員として勤務。						
授業の学習 内容	基本的な動物の体の構造や骨格、生理的な知識を学ぶ。						
到達目標	飼育環境の改善、体調不良の原因を考えられるようになれば良い						
評価方法と基準	定期試験 80% 授業態度 20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義	胃のはたらきについて説明できる	テキスト・ノート確認
2	10月11日	講義	肝臓、胆のう、すい臓の分泌物について説明できる。	テキスト・ノート確認
3	10月18日	講義	腎臓のはたらきを説明できる。	テキスト・ノート確認
4	10月25日	講義	腎臓のはたらきを説明できる。	テキスト・ノート確認
5	11月1日	講義	気管・気管支・肺のはたらきを説明できる。	テキスト・ノート確認
6	11月8日	講義	生殖器のつくりを説明できる。	テキスト・ノート確認
7	11月15日	講義	生殖器のつくりを説明できる。	テキスト・ノート確認
8	11月22日	講義	生殖器のつくりを説明できる。	テキスト・ノート確認
9	11月29日	講義	骨格のつくりを説明できる。	テキスト・ノート確認
10	12月6日	講義	骨格のつくりを説明できる。	テキスト・ノート確認
11	12月13日	講義	頭蓋骨と耳骨を説明できる。	テキスト・ノート確認
12	1月10日	講義	眼球を説明できる。	テキスト・ノート確認
13	1月17日	試験	まとめ	
14	1月24日	講義	筆記試験	
15	1月31日	講義	振り返り	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
JESC動物の体のしくみ				